

平成20年度 下期（第5回） 「M-1グランプリ」報告書



“小さな気づき” から “大きな成果” まで、
日々の業務を行う中で実践した取組みの成果報告です。

平成21年3月

浜田市総合調整室

1. 「M-1 グランプリ」とは

市民へ質の高い行政サービスを提供していくためには、職員が前向きにやる気（Motivation）を持って業務に取り組むことが不可欠です。同時に積極的に業務に取り組み成果をあげた職場（職員）を評価することが重要であり、評価を通じた組織全体の活性化（やる気の相乗効果）をはかることが重要です。

このため、浜田市では、平成19年1月から“小さな気づき”から“大きな成果”まで、日々の業務を行う中で職員が実践した取組みの成果を募集し、優秀なものについては、市長（Mayer）が職場を表彰する「M-1 グランプリ」を展開しています。

*事業の名称について

職員のやる気（Motivation）を高め、市長（Mayer）が職場を表彰するという事業趣旨から、それぞれの頭文字「M」をとり、「M-1 グランプリ」という名称に決定しました。

2. これまでの「M-1 グランプリ」

「M-1 グランプリ」は、対象期間中に取り組んだ（又は成果の出た）業務等を対象に、庁内募集を行い「職場単位」で成果報告をしていただきます。

報告のあった成果について、市民サービスへの寄与度・事務改善への貢献度・先進性等を、課長会議等で総合的に審査し、最も優れた成果に「M-1 グランプリ（最優秀賞）」を授与しています。

● 第1回：平成18年度 第四半期

報告件数： 10課14件

最優秀賞： 「手話をコツコツ実践、窓口対応アップ」（市民福祉部健康長寿課）

取組概要： 来庁される聴覚障害者とのコミュニケーション向上を図るため、“一日1手話”を目標に、毎朝のミーティングで職員が手話習得に励んだ取組み。

● 第2回：平成19年度 上期（4月～9月）

報告件数： 4課5件

最優秀賞： 「どぶろくの里づくり」（弥栄支所産業課）

取組概要： 「おいしい空気、おいしい水、おいしい米、そしておいしい人」という弥栄自治区の地域特性を活かして、都市農村間交流の推進、特産品の開発等を手がけた取組み。

● 第3回：平成19年度 下期（平成19年10月～平成20年3月）

報告件数： 5課6件

最優秀賞： 「地域づくりは地域住民の手で!!」（旭支所自治振興課）

取組概要： 平成17年から取り組んだ「市木地区まちづくり支援事業」により、地域自治会が自ら行う地域活動、地域情報誌「ほたる」（月刊）の発行等を支援した取組み。

最優秀賞： 産業経済部除組織検討プロジェクト（産業経済部）

取組概要： 産業経済部内の若手職員が自発的に部内の組織体制を検討し、部長に報告書を提出。その報告書(案)をもとに機構改革の検討を行い、平成20年4月の機構改革に反映した。

※審査の結果、得票数が並んだため2件の取組みが最優秀賞を受賞しています。

● 第4回：平成20年度 上期（平成20年4月～平成20年9月）

報告件数： 3課3件

最優秀賞： 「食文化の融合で観光PR～海鮮うずめ飯」（産業経済部観光振興課）

取組概要： 観光客誘致に欠かすことができないのが「食」である。有志によって活動している食フェスタ実行委員会で、食文化の見直しと掘り起しに取り組む中、市町村合併により海と山の食文化が融合した新たな食への取組みを目指している。そうした中で、古くからの伝統的な郷土料理の「うずめ飯」と新鮮な海の幸を融合させた「海鮮うずめ飯」を考案した。

● 第5回：平成20年度 下期（平成20年10月～平成21年3月）

報告件数： 5課5件

最優秀賞： 「守り育てる医療・・・医師確保に向けてのプロジェクト」
（市民福祉部地域医療対策課）


取組概要： 全国的な医師不足が叫ばれる中、浜田市の地域医療が崩壊しないよう、「地域医療」を守り、育てる取組を始めた。「地元で医療のことを考えてくれる人をいかに増やすか」が私たち行政に課せられた課題であると考え、国保診療所の医師とともに、浜田保健所、浜田医療センターなど関係機関と連携を取り、様々な事業を実施した。

3. 第5回「M-1 グランプリ」報告案件

受付順

- 【1】 守り育てる地域医療・・・医師確保に向けてのプロジェクト
(市民福祉部地域医療対策課)
- 【2】 浜田市ごみ・し尿収集計画表(ごみカレンダー)の有料広告掲載(市民福祉部環境課)
- 【3】 「無料職業紹介所の開設」◇◆おまかせください あなたのお仕事
お世話をしますマンパワー◇◆(産業経済部産業政策課)
- 【4】 住基カードをご存知ですか?
(市民福祉部総合窓口課、各支所市民福祉課〔三隅支所市民課〕)
- 【5】 浜田の五地想ものがたり ～食の受け皿づくりへ職員のモチベーションもアップ!～
(産業経済部観光振興課)

<p>(1) 担当部課</p>	<p>市民福祉部 地域医療対策課</p>
<p>(2) タイトル</p>	<p>守り育てる地域医療・・・医師確保に向けてのプロジェクト</p>
<p>(3) 取組概要</p>	<p>全国的な医師不足が叫ばれる中、浜田市の地域医療が崩壊しないよう、「地域医療」を守り、育てる取組を始めた。</p> <p>「地元で医療のことを考えてくれる人をいかに増やすか」が私たち行政に課せられた課題であると考え、国保診療所の医師とともに、浜田保健所、浜田医療センターなど関係機関と連携を取り、様々な事業を実施した。</p> <p>【守る取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜田医療センターと共催の「タウンミーティング」の実施 1月から実施 ・ オリジナルチラシによる啓発活動 2月から実施 <p>【招く取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師確保DVD作成 1月完成 ・ 医師へのダイレクトメール→「赤ひげメール」への加入促進 3月から実施 ・ ホームページとブログの開設 3月実施 <p>【育てる取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生の医療体験「医者っておもしろい」 12月開催 ・ 医学生の積極的な研修の受け入れ 通年 ・ 医学部入学生との交流 3月開催  
<p>(4) 成果</p>	<p>住民に「地域医療」を守ろうという意識のめばえ 全国へ情報発信</p>
<p>(5) 成果詳細</p>	<p>【守る取組】</p> <p>「タウンミーティング」4会場 延べ 170 人来場 オリジナルチラシ 約10 団体利用 →住民の意識改革</p> <p>【招く取組】</p> <p>医師確保DVD 関係機関に配布・島根大学医学部で放映 } 医師の浜田への 赤ひげメール登録者の増加 現在 56 人登録 } 関心度アップ ブログのアクセス件数 380 件(3月23日現在)</p> <p>【育てる取組】</p> <p>中学生の医療体験 2人参加、感想を子どもニュースに掲載 } 21年度 研修医 医学生の研修受け入れ 41人 研修医の受け入れ 2人 } 予約 8人 医学部合格者を祝う会に5人出席・不参加の2人にも激励の文書発送</p>
<p>(6) 備考</p>	

(1) 担当部課	市民福祉部 環境課
(2) タイトル	浜田市ごみ・し尿収集計画表(ごみカレンダー)の有料広告掲載
(3) 取組概要	<p>1 有料広告を掲載するにあたり、代理店方式により、1 枠 52,500 円×24 枠を一括して買い取ってもらうことを、当初は考えていた。</p> <p>2 広報はまだ・市ホームページの有料広告募集方法を参考にして、関係業者の説明会を行い意見を聴いたところ、金額が高すぎて広告を取るの難しいとのことであった。</p> <p>3 平成 21 年度分は、浜田自治区分のみを対象として、ごみカレンダー印刷受託業者に、下記内容で一括して売り渡すこととした。</p> 
(4) 成果	252,000 円の有料広告収入を得た。
(5) 成果詳細	<p>ごみカレンダーの紙面の一部を広告欄として売り渡し、収入を得ることができた。</p> <p>1 枠 (縦 4.0 cm×横 12.5cm) 21,000 円 ×12 枠 (H21 年 4 月～H22 年 3 月、各月 1 枠) =252,000 円</p>
(6) 備考	<p>以下 4 点の課題がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 原課が 1 社ずつ広告を取るの困難なので、代理店方式が望ましい。募集の方法をどうするか。 2 浜田自治区以外のカレンダーについては、レイアウト等が違うので対応をどうするか。 3 広告料の設定は良いか。 4 広告枠の設定は良いか。

(1) 担当部課	産業経済部 産業政策課
(2) タイトル	<p>「無料職業紹介所の開設」 ◇◆ おまかせください あなたのお仕事 お世話をしますマンパワー ◆◇</p>
(3) 取組概要	<p>《 背景と概要 》 平成20年秋頃からのアメリカ発の金融・経済危機の影響により、100年に1度といわれるような未曾有の経済不況に襲われ、日本の経済・雇用情勢が悪化。今後、浜田市においても失業者・雇用相談の増加が見込まれる事態となった。このような中、市担当部署として『なんとかしなければ、今すぐ何ができるか』と危機意識を持ち、担当係長を中心に課内で早急に検討をおこなった。検討協議の結果、雇用対策として、目前の危機に対処するため、市民が利用できる職業相談窓口を増やし市民・企業への安心と便益・サービスの向上を図るため、スピード感を持って、環境整備を目指すこととした。まずその第一歩として、無料職業紹介所の開設に向け、産業政策課の2人の職員が職業安定法に基づき、平成20年9月に大阪府で設置要件となる講習会を受講した。そして同法第33条の四第1項に基づき、厚生労働大臣に対して地方公共団体無料職業紹介事業届出書の提出をおこない、平成21年2月5日に受理された。その後、広く市民や市内企業主等に周知を図るため、平成21年2月に市のホームページや3月の広報誌に掲載しPR活動をおこない、平成21年3月2日(月)に市役所4階、産業政策課隣に個人情報を守られるよう個室で整備し、無料職業紹介所の開設と職業紹介責任者を配置した。</p>
(4) 成果	<p>◇ 無料職業紹介所の開設 ◇ 職員の『ヤル気・意欲』意識の高揚</p>
(5) 成果詳細	<p>開設したばかりで、未だ相談実績は少ないが、雇用情勢が一層厳しくなると予想される年度末を前に開設することができ、今回の取組みで『市民への安心な暮らしと職場の確保』及び『地元企業への人材情報の提供』の成果と、併せて『職員の人材育成』の両面から次のような成果が期待される。</p> <p>《 期待される成果 》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民・地元企業に密着した市の持つ強みを活かすことで、地域、求人・求職者の実情に応じた、効率的かつ効果的な雇用関係のマッチングができ、就業率が向上。 2. 市の産業政策及び定住政策等と関連付けた職業紹介により就業率が向上。 3. 今回の取組みは、市民の立場に立った危機意識が引き金となり、まず自分たちができることから一歩ずつ進めていこうと、可能な限り迅速に行動した。また、財政的にも厳しい中、コスト意識を持ち、できるだけ経費を抑えたゼロ予算型に近い方法で実施した。特に、今回の開設の実現が自信につながり、ひとつのきっかけとなり、課職員の意識・姿勢の面で、市民サービス向上のための業務の改善意識、目標達成のための業務遂行意欲等がさらに高まり、新たな意欲に結びついていることが大きな成果。
(6) 備考	

<p>(1) 担当部課</p>	<p>市民福祉部 総合窓口課、各支所市民福祉課(三隅支所市民課)</p>																																												
<p>(2) タイトル</p>	<p>住基カードをご存知ですか？</p>																																												
<p>(3) 取組概要</p>	<p>◎総合窓口課等担当課では、住民票等の証明書自動交付機を利用する際等に必要となる「住基カード(住民基本台帳カード)」の登録手続きを進めている。</p> <p>◎住基カードの普及・認知度アップの取り組み (住基カードってなぁに)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 住基カード発行手数料の無料化(H20.7) ② 分かりやすく、気を引くCM、チラシ、DVDの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ チラシは、高齢者の皆さんに分かりやすい工夫を ・ TVでのCMは、短時間のため、若者の気を引く工夫を ③ 証明書自動交付機機能登録時期前の市職員への協力依頼 ④ 1回で自動交付機機能付き住基カードを取得してもらうためにTVでのCM放映、チラシの全戸配布や市民ロビーでのPR用DVD放送開始は証明書自動交付機機能の登録開始日とした。 ⑤ 写真付き住基カードの作成の際、本来持ち込みとなる「写真」を、市役所で無料撮影した。 ⑥ 職員の連携による短時間の発行 ⑦ 税務課、税務署、商工会議所との連携 ⑧ 住基カード・電子証明書休日窓口の開設(2/21(土)) 																																												
<p>(4) 成果</p>	<p>住基カード交付者 4,610名 7.6%(3月当初)</p>																																												
<p>(5) 成果詳細</p>	<p>◎ 当初予定をはるかに上回る市民に登録いただいている。</p> <p>◎ 写真付き住基カードは、免許証を持たない市民の方にとっては、公的な身分証明書となるため、非常に喜ばれている。</p> <p>◎ 住基カードで簡単に印鑑証明書等がとれる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="379 1391 852 1975"> <p>平成20年度月初登録者数(人)</p> <table border="1"> <caption>平成20年度月初登録者数(人)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>5月</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>6月</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>7月</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>8月</td><td>2,500</td></tr> <tr><td>9月</td><td>2,600</td></tr> <tr><td>10月</td><td>2,700</td></tr> <tr><td>11月</td><td>2,800</td></tr> <tr><td>12月</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>1月</td><td>3,300</td></tr> <tr><td>2月</td><td>3,700</td></tr> <tr><td>3月</td><td>4,600</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="903 1391 1426 1951"> <p>平成20年10月～平成21年2月期における人口1000人あたり住基カード交付枚数</p> <table border="1"> <caption>平成20年10月～平成21年2月期における人口1000人あたり住基カード交付枚数</caption> <thead> <tr> <th>市</th> <th>枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>松江市</td><td>7.4</td></tr> <tr><td>浜田市</td><td>32.1</td></tr> <tr><td>出雲市</td><td>14.3</td></tr> <tr><td>益田市</td><td>4.5</td></tr> <tr><td>大田市</td><td>4.6</td></tr> <tr><td>安来市</td><td>3.9</td></tr> <tr><td>江津市</td><td>5.4</td></tr> <tr><td>雲南市</td><td>4.3</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	月	登録者数(人)	4月	2,400	5月	2,400	6月	2,400	7月	2,400	8月	2,500	9月	2,600	10月	2,700	11月	2,800	12月	3,000	1月	3,300	2月	3,700	3月	4,600	市	枚数	松江市	7.4	浜田市	32.1	出雲市	14.3	益田市	4.5	大田市	4.6	安来市	3.9	江津市	5.4	雲南市	4.3
月	登録者数(人)																																												
4月	2,400																																												
5月	2,400																																												
6月	2,400																																												
7月	2,400																																												
8月	2,500																																												
9月	2,600																																												
10月	2,700																																												
11月	2,800																																												
12月	3,000																																												
1月	3,300																																												
2月	3,700																																												
3月	4,600																																												
市	枚数																																												
松江市	7.4																																												
浜田市	32.1																																												
出雲市	14.3																																												
益田市	4.5																																												
大田市	4.6																																												
安来市	3.9																																												
江津市	5.4																																												
雲南市	4.3																																												

(1) 担当部課	産業経済部 観光振興課
(2) タイトル	浜田の五地想ものがたり ～食の受け皿づくりへ職員のモチベーションもアップ！～
(3) 取組概要	<p>平成 20 年度から、民間有志の発意で始まった「食」への取り組み。最初は、民間の「食」に対する想いだけで具体的な方向性が見ていないこともあり、また、「食」の裾野は広く、観光振興課が所管すべき事業かどうかの迷いがあった。予算も確保されていない中で暗中模索の仲間づくりからスタートしたが、会議やセミナーを通して議論を重ねるうち、自分たちの食へ取り組み姿勢にも変化が表れ、産業経済部の横断的な連携・協力体制もできていった。</p> <p>職員の気持ちが前向きになったことで、島根県や日本商工会議所の支援メニュー獲得の動きも加速し、平成 21 年 2 月 20 日、はまだ人材育成セミナー講師であった石村由起子先生の総合コーディネートにより、東京でマスコミ関係者を対象にした浜田の PR イベント「五感で味わう浜田のものがたり事業」が実現した。</p> <p>イタリア料理研究家の米沢亜衣さんに調理を依頼し、生産者自ら食材へのこだわりを語ったこのイベントはマスコミ関係者に絶賛され、その後、多くの取材希望が寄せられているが、広告宣伝費に換算すると数百万円以上の効果をもたらすことにつながったと評価している。</p> <p>また、このイベントの成果を地元へ持ち帰り、生産者・料飲店・宿泊施設などの関連事業者 100 名を対象に報告会を開催するとともに、食でもてなす観光地づくりセミナーへとつないでいく中で、民間の気運の盛り上がりを感じている。</p> <p>いろいろな課題がある中で、民間の声に反応してささやかな第一歩を踏み出したことが現在の流れにつながっていて、官民連携のモデルケースにあたるものと考えている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>※写真は東京での試食会の様子</p>
(4) 成果	<ul style="list-style-type: none"> ●「食」に関する業務に取り組むモチベーションが上がるとともに、庁内関係課職員との連携により、前向きに一体感のある仕事ができる。 ●会議を重ねるうちに、「食」に携わる民間の方との信頼関係ができた。 ●セミナー講師ともいい関係ができ、浜田ファンになっていただくとともに、一過性ではなく、引き続き、はまたの「食」を通して交流していただけることとなった。
(5) 成果詳細	<ul style="list-style-type: none"> ◎広告宣伝費に換算すると、数百万円にも相当する効果を創出。 ◎食材へのこだわりとものがたりを念頭においた PR の重要性への気づき。 ◎食材のテキストづくりの重要性へ気づき。 ◎何でもないものでも、自慢できる食材が身の回りにはまだまだたくさんあることへ気づき。
(6) 備考	<p>★新年度の新たな「食の元気なまちづくり」に向けて、官民の気運も盛り上がってきたところであり、受け皿整備に向けて課員のモチベーションも高まっている。</p> <p>★食育など福祉、教育部門とも連携し、枠こたわれないで、市役所全体で取り組んでいくことが今後不可欠であり、そうならないとこの取り組みは実を結ばない。</p> <p>★「食」のまち・浜田の実現に向けて、今後も官民一体で取り組んでいきたい。</p>